



各位

平成18年5月8日

株式会社 ヨロズ

横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代表取締役社長 志藤 昭彦
(コード番号 7294 東証第一部)
問合せ先 取締役管理部長 河原 清
(TEL.045-543-6802)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年11月21日中間決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下表の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.平成18年3月期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

【連結】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年11月21日発表)	102,700	2,790	1,590
今回修正予想(B)	109,600	3,850	2,390
増減額(B-A)	6,900	1,060	800
増減率	6.7	38.0	50.3
前期(平成17年3月期)実績	85,675	2,954	1,329

【単独】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年11月21日発表)	47,800	2,380	1,360
今回修正予想(B)	51,500	3,200	770
増減額(B-A)	3,700	820	590
増減率	7.7	34.5	43.4
前期(平成17年3月期)実績	39,088	1,981	1,177

2. 修正の理由

連結

売上高は、単独の売上増や円安による円価換算額の増により前回予想値より69億円(6.7%)増収の1,096億円となる見込です。

経常利益は、顧客先の値引要請や資材の値上がり等の減益要因をカバーすべく合理化を進めてまいりました結果、前回予想値に対しては10億6千万円(38.0%)増益の38億5千万円となる見込みです。

また当期純利益も、合理化による経常利益の増の結果、前回予想値に対して8億円(50.3%)増益の23億9千万円となる見込みです。

単独

売上高は、前回予想値に対して37億円(7.7%)増収の515億円の見込みです。これは主として、海外子会社向け金型・設備の売上増によるものであります。

利益面では、経常利益が前回予想値に対して8億2千万円(34.5%)増益の32億円となる見込ですが、当期純利益は5億9千万円(43.4%)減益の7億7千万円となる見込です。当期純利益の減益要因は、米国子会社であるヨロズオートモーティブミシシッピに対する貸付金についてその一部について貸倒引当金を計上することとしたことによるものであります。当該貸倒引当金の計上額は17億6千万円であります。

以上